

令和6年度 ハッピーハート新潟中央 自己評価総括表

保護者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 保護者対象者数:26 回答:23

従業者評価実施期間:令和6年10月1日~10月31日 従業者対象者数:6 回答:6

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供	子どもたちが安全に安心して過ごせる環境づくり 個別支援計画に基づいた支援の提供 専門的支援員の配置	スペースづくりの工夫 聴覚過敏の利用児に対しての空間づくり 職員会議や研修等で支援の質の向上
2	子どもに合わせた活動プログラムの提供	創作活動、運動、コミュニケーション活動等、さまざま な活動を日替わりで提供 子どもたちの成長、目標を意識したオリジナルの活動を 立案	個別の目標に合わせた活動の提供 外出活動、調理活動等、将来の生活を視野に入れた活動 の機会を増やす 余暇活動の充実
3	チームでの支援体制	職員間のコミュニケーション 担当制にせず、全ての子どもに全ての職員が関わり、支 援を提供 支援会議や打ち合わせにて、課題、目標、支援方法の共 有	情報共有 個別支援計画を意識した支援や関わりの継続

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	地域に開かれた事業所運営	利用児が地域の学校に通っていて、つながりがあるた め、事業所単位で地域の子どもと活動する機会をつくる 必要性を感じていない 地域の皆様のことを考えると、イベント参加など負担が 大きいのではないかと考え、招待するイベントを開催で きていない	地域とのつながりの構築 利用児やご家族が望んでいる形での地域との関わり方を 検討 地域の方へ負担にならないような関わり方、イベント開 催等を検討
2	ご家族に対するアプローチ	保護者同士、きょうだい同士の交流する場が必要か、ご 家族の意向を把握できていない 保護者への必要な助言と支援が、職員によっては難しい	ご家族が参加できる研修会の実施 経験の浅い職員の支援力の向上(事例検討等の実施) 情報やアプローチ方法をチームで共有
3	外部との連携	利用児やご家族のためのつながりは構築できているが、 外部の方も多忙で、事業所に来所していただく機会が少 ない 外部の方とは情報交換で精一杯であり、事業所の運営ま で確認し、評価いただく時間がない 児童発達支援センターとの連携不足	外部との関係強化 見学、ボランティア等の積極的な受け入れ